

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	多文化コミュニケーション論				
担当者氏名	新堀 春輔				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

多様な文化・価値観の理解を深めるためのコミュニケーションのあり方について、講義及びディスカッション、ワークショップ等を織り交ぜて学びます。

《テキスト》

特になし。
適宜、参考資料を配布します。

《参考図書》

みなみなみ著,「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会編(2009)『クラスメイトは外国人 -多文化共生20の物語-』明石書店

《授業の到達目標》

国籍に関わらず、様々な文化や背景を持った人々が、ともに学び、同じ社会を構成するために、様々な文化や価値観の違いの理解と受容を、対話(コミュニケーション)を通じてすすめていく力を培うことを目標とします。

《授業時間外学習》

毎回の授業内容の復習はもちろん、「多文化共生」や「国際問題」に関わる様々な情報に日々アンテナを張って情報収集を心がけるようにすること。

《成績評価の方法》

平常点(受講態度及び、演習・ワークショップへの主体的な参加) 60%、レポート 40%

《備考》

ワークショップやグループワークを織り交ぜて授業を進めますので、主体的な参加を心がけてください。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	「多文化」のイメージ共有、文化とは何か【ワークショップ】
2	「普通」とは何か	社会における「普通」を決めるものは何かを考える【ワークショップ】
3	コミュニケーションとは	コミュニケーションとは何か、またその基盤となるものは何かを考える【講義・ワークショップ】
4	コミュニケーションとは	コミュニケーションと言語・文字の役割について考える【講義・ワークショップ】
5	コミュニケーションとは	非言語コミュニケーションについて考える【講義・ワークショップ】
6	異文化体験	マイノリティとマジョリティについて体験する【ワークショップ】
7	異文化体験	言語・文字がわからない環境でのコミュニケーションについて体験する【ワークショップ】
8	偏見とは何か	どのように偏見は生まれるのかを考える【ディスカッション】
9	偏見とは何か	「ホームレスは怠け者か？」を題材に偏見について考える【ワークショップ】
10	多様な価値観	「豊かさ」「貧しさ」とは何かを考えることを通じて、多様な価値観について知る【ワークショップ】
11	ケーススタディ	「外国人差別」、「在日/日系人」について考えるケーススタディ
12	ケーススタディ	「移民」「難民」について考えるケーススタディ
13	多文化共生事例紹介	多文化共生のための様々な取り組み事例紹介
14	多文化共生社会に必要なものは何か	多文化共生社会に必要なもの、必要なコミュニケーションについて考える【ワークショップ】
15	まとめと全体ふりかえり	全15回の講義のまとめ